

## 「2003年度 特色ある大学教育支援プログラム」 (文部科学省) に本学が採択されました。

文部科学省が公募した2003年度の「特色ある大学教育支援プログラム」(通称「COLプログラム」)に本学が申請した「アカデミックインターンシップの全学的展開—教育とキャリアデザインとの融合をめざして—」が採択されました。このプログラムには全国の国公私立大学からあわせて664件の申請がありました。設置形態別の採択数は次のとおりです。国立23件(申請93件)、公立6件(同46件)、私立26件(同338件)で私立大学の採択率は7.7%(国立大学は採択率24.7%)の極めて狭き門でした。

2003年度 審査結果<4年制大学抜粋>

	申請大学数	採択大学数	採択率	主な採択大学
国立大学	93	23	24.7%	北大、東北大、東大、名古屋大、京大、九州大等
私立大学	338	26	7.7%	中央大、早稲田大、慶應義塾大、上智大、明治大等

※特色ある大学教育支援プログラム:大学教育の改善に資する種々の取組のうち、特色ある優れたものを選定し、選定された事例を広く社会に情報提供することで今後の高等教育の改善に活用することを目的に今年度から公募が始まりました。公募にあたっては、5分野のテーマ(①総合的取組、②教育課程の工夫、③教育方法の工夫、④学生の学習や課外活動への支援、⑤大学と地域・社会の連携)があり申請は1大学1件のみに限定されます。2003年度の公募に対して、本学は②のテーマで申請しました(テーマ②について私立大学から117件の応募があり採択されたのは7件でした)。なお、COLはセンター・オブ・ラーニング(教育の拠点)の略。ただしこの名称は、先に公募のあった「COE(センター・オブ・エクセレンス:研究の拠点)」と対応して大学関係者が通称として使用しており、文部科学省は公募にあたっては使用していません。

### ■中央大学における「インターンシップ」の取組

本学におけるインターンシップの取組は、1993年に経済学部公共経済学科の新設から始まります。都市問題や環境、医療など市場原理だけでは解明できない問題に公共経済学・公共政策の視点から取り組むという学科の目的を達成するために、自治体等での実習を伴う科目として「インターンシップ」を正規科目として導入しました。派遣先での研修に留まらず、派遣先との緊密な連携による学生に対するきめの細かな事前・事後の指導、専任教員のフォローアップと一体となった「インターンシップ」は、高い学習効果をあげ、履修した学生はもとより学内外から先駆的な取組として高い評価を受けてきました。派遣先、履修者ともに年々拡大し、今年度は地方自治体2区7市のほか、東京都の関連部局、民間企業、シンクタンクやマスコミ等、経済学部全体で100名を超える学生が履修しています。

この実績を生かし、他の学部においても、それぞれの学部の学問的特徴を生かし、インターンシップを導入し、学習効果の向上に努めてきました。これら正規科目としてのインターンシップを総称して「アカデミックインターンシップ」と定義し、全学的に展開しました。さらに、学生の職業観の育成といった近年の社会的要請に応えるために、キャリアセンター(旧就職部)において独自の「キャリアデザインインターンシップ」を実施し、キャリア教育の充実を図り、課外活動におけるサポート体制の整備を進めてきました。

今後はこれまでの実績を生かし、「アカデミックインターンシップ」と「キャリアデザインインターンシップ」の有機的な連携と支援体制の充実に向けた体制を整備し、全学をあげてインターンシップのさらなる充実を図っていきます。

### お知らせ

文部科学省2003年度「特色ある大学教育支援プログラム」採択記念シンポジウム(予定)

日時 2003年12月10日(水) 13:00~

場所 中央大学多摩校舎8号館8303号教室

進行基調報告:中央大学のCOL採択内容について

体験報告:インターンシップ参加学生による体験報告

シンポジウム:「アカデミックインターンシップの推進について(仮題)」